2017年　伝道のための日本フィールドスクール

**キリストへと向かう祈りの行進の人々**

**Challenge and Rationale　挑戦と根拠**

1. 日本のほとんどの人はキリストを知りません。日本人の世界観からすると、聖書はまったく異質です。そして何百万人もの人が日本の都市に住んでいますが、アドベンチスト教会の数は少ないのです。教会は小さく、私たちの機関も少数です。日本の人々は神の直接的な介入が必要です。そして神は彼らのためにとりなしをする協力者―教会―を必要としていらっしゃいます。
2. 日本のアドベンチスト教会に、これらの大都市を真の意味で大きく変えられる教会員数や資産はないかもしれません。しかし神のみ言葉と、神に信頼する意思を持つ人々がいます。
3. しかし、キリストは「町にはわたしの民が大勢いる」（使徒言行録18:10）ことをご存知です。そして弟子たちにキリストの終わりの日のメッセージに応える人―収穫されるのを待っている人―が想像以上にたくさんいるということをお教えになったのです（ヨハネ4：35）
4. エレン・ホワイトも同じようなことを述べています。「世界中の男女は何かを求めて天を仰いでいる。光と恵みと聖霊を求める魂から、祈りと涙と願いごとが天にのぼっていく。多くのものは、み国の入口に立って、刈り集められるのを待つばかりになっているのである。」『患難から栄光へ』『希望への光』1397ページ
5. 神は都市を愛しておられます。ヨナがニネベの人たちが生きようと死のうと気にも留めなかったとき、神は仰いました。「どうしてわたしが、この大いなる都ニネベを惜しまずにいられるだろうか。そこには、十二万人以上の右も左もわきまえぬ人間と、無数の家畜がいるのだから」（ヨナ書4:11）。キリストがこれから彼をメシヤとして拒絶するエルサレムをご覧になったとき「心の深い苦悩にとぎれる声と苦い涙のうちに」（『希望への光』998頁）こうおっしゃったのです。「ああエルサレム、エルサレム･･･ちょうど、めんどりが翼の下にそのひなを集めるように、わたしはおまえの子らを幾たび集めようとしたことであろう。それだのに、お前たちは応じようとしなかった」（マタイ23:37，38）。神は東京、大阪、仙台、沖縄、そして他の多くの都市に住んでいる人も愛していらっしゃると思われませんか。
6. 神は執り成す人を必要としておられます。神が訪ね求めている人たちを、神の愛と力に結びつけられる人々です。神は、その人を通して神を力強くあらわすことのできる人々を捜し求めておられます（歴代誌下16:9）。

**Prayer Is the Strategy　祈りこそ戦略そのもの**

1. 歴史上の全ての大きなリバイバルと神の改革運動では、祈りが大きな役割を果たしてきました。信仰による祈りは、神が状況を変えてくださる時に使われる主な手段です。
2. 祈りはただ単に伝道戦略のサポートとして教えられるべきではありません。祈り、正しい祈り、はそれ自体が戦略なのです。大きな変化が起こるための最初の大きな第一歩が、祈りなのです。
3. この戦略は2つの基本要素から成っています：祈りと歩くこと、すなわち祈りの行進です。歩き方はもうすでに誰もが知っています。そしてほとんどの人がさらに効果的な祈り方を知りたいと思っているでしょう。
4. 祈りの行進というのは、2人かそれ以上の友達とチームを作り、地域で事前に決めておいたエリアを週に何度か30～40分ほど祈りながら行進するということです。歩きながら直接目に入る人、見えなくてもそこに住んでいるアパートの人やバスや電車に乗っている人、また会社やお店で働いている人たちのために祈ります。
5. イスラエルの人たちも7日間、要塞の城壁が崩れ落ちるまでエリコの町の周りで祈りの行進を行いました（ヨシュア6:15、16，20）。
6. パウロもシラスとテモテを待つ間、アテネの町で祈りの行進を行ったようです。「パウロはアテネで二人を待っている間に、この町の至るところに偶像があるのを見て憤慨した」と書いてあります（使徒言行録17:16）。
7. 祈りの行進はクリスチャンの国で30年ほど前に始まりました。それ以来信仰の人々の祈りにより、多くの人々が導かれてきました。
8. 日本のアドベンチスト教会では高齢化が進んでいますが、これは年配の方々に携わっていただける重要な伝道活動です。
9. 世界で祈りの行進を最も必要としている場所は、アジアの大都市です。もし日本の教会員の皆さんが祈りの行進の重大さを真剣に受け止めるならば、必ず成功します。そしてこの成功を通して、世界中の何百万人ものアドベンチストが失われた人たちのために祈ることの重要性に目覚めさせられることでしょう。

**Expectations and Promises　期待できることと約束**

1. 祈りの行進は、最も影響力のあった中国へのキリスト教伝道師（18,000人が改心。800人の他の宣教師を連れてくる）ハドソン・テイラーによっても行われました。その体験のひとつが息子によって記録されています。
2. 米国ダラスで起こったお話のように、祈りの行進によって、人々はキリストについて尋ねるよう導かれてきました。
3. パウロは「わたしたちの戦いの武器は肉のものではなく、神に由来する力であって要塞も破壊するに足ります」（Ⅱコリント10:4）と言っています。私たちは悪の勢力に対して、方式や資産で打ち勝つことはできません。ただ神を将軍とするときのみ、勝利を期待できるのです。
4. 祈りの行進の最中に唱えることのできる、キリストの素晴らしい約束があります。
	1. 「求めなさい。そうすれば、与えられる。探しなさい。そうすれば、見つかる。門をたたきなさい。そうすれば、開かれる。だれでも、求める者は受け、探す者は見つけ、門をたたく者には開かれる」。神は絶対的なお方です。神は、これは求め、探し、叩く人の誰にでも実現すると約束されています。ギリシャ語の言語では、「求め続けなさい、探し続けなさい」という粘り強さを伝えています。
	2. 「また、はっきり言っておくが、どんな願い事であれ、あなたがたのうち二人が地上で心を一つにして求めるなら、わたしの天の父はそれをかなえてくださる」（マタイ18:19）。なんと素晴らしい約束でしょう。他の人と心ひとつに祈るとき、神はその祈りを聞いて適切な方法で実現してくださるのです。この聖句の文脈は、失われた者を捜し求めて救うという教会の働きです。
	3. 「だから、言っておく。祈り求めるものはすべて既に得られたと信じなさい。そうすれば、そのとおりになる」（マルコ11:24）。これは最も素晴らしい約束です。ここでの強調点は、神はなさることができる、と信じることです。文脈からキリストが弟子たちに「信仰を持ちなさい（日本語では神を信じなさい）」と強く訴えていることがわかります。キリストが前日に呪われたいちじくの葉は、今は枯れているのです。神は、神の力を心から信じる人たちのために奇跡を起こしてくださいます。
	4. 「あなたがたがわたしにつながっており、わたしの言葉があなたがたの内にいつもあるならば、望むものを何でも願いなさい。そうすればかなえられる。あなたがたが豊かに実を結び、わたしの弟子となるなら、それによって、わたしの父は栄光をお受けになる」（ヨハネ15:7,8）。これはキリストが木、私たちはその枝だという話のなかで語られた言葉です。それなので、明らかに私たちが求めるものや望むことは、神の望みと一致するのです。なぜなら神の言葉が私たちの一部になっているからです。キリストのこの言葉を繰り返して暗記してください。そして神は失われた人たちへのあなたの願いを実現させてくださいます。
	5. 「愛する者たち、わたしたちは心に責められることがなければ、神の御前で確信を持つことができ、神に願うことは何でもかなえられます。わたしたちが神の掟を守り、御心に適うことを行っているからです」（Ⅰヨハネ3:21,22）。この聖句はとても重要な聖句です。神を喜んで敬うことが祈りの応答とつながっているからです。もし私たちが日々の中で、意識的に罪を犯しているなら、祈る時、神から祈りの応えが与えられると確信できないでしょう。その理由は明確で、罪と神は相いれないからです（詩編66:18参照）。私たちが罪を抱いて生きている時、信仰によって祈ることはできません。神の掟に従い、確信を持って祈ることが出来るようにしましょう。
	6. 「何事でも神の御心に適うことをわたしたちが願うなら、神は聞き入れてくださる。これが神に対するわたしたちの確信です。わたしたちは、願い事は何でも聞き入れてくださるということが分かるなら、神に願ったことは既にかなえられていることも分かります」（Ⅰヨハネ5:14,15）。私たちは皆、神の御旨に従って祈るべきであることを知っています。そして、失われた者を救い出すことは神の御旨であることも知っています（Ⅰテモテ2:4）。この聖句の鍵は、神が失われた者のために捧げられる私たちの祈りを聞いてくださったと、私たちが知っているか知らないかということです。このために私たちは祈り続ける必要があるのです。私たちは神が祈りを聞いてくださり、その祈りに応えてくださると確信できるまで祈り続けるのです。
	7. 「そこで、まず第一に勧めます。願いと祈りと執り成しと感謝とをすべての人々のためにささげなさい。王たちやすべての高官のためにもささげなさい。わたしたちが常に信心と品位を保ち、平穏で落ち着いた生活を送るためです。これは、わたしたちの救い主である神の御前に良いことであり、喜ばれることです。神は、すべての人々が救われて真理を知るようになることを望んでおられます」（Ⅰテモテ2:1-4）。パウロは教会の人々に、権威者のような、彼らが知らない人々のためにも祈るように勧めています。なぜでしょうか。なぜなら、一番の目的は、すべての人の救いであり、あらゆる人が真理の知識を知るに至ることだからです。
5. 時々、私たちは、自分たちの祈りが本当に違いをもたらしているのか、考えてしまう時があります。そんな時は、どうかエレン・ホワイトの次の言葉を注意深く読んでください。

「この世の知恵は、祈りは無用であると教える。祈りに応答などはないと、科学者たちは主張する。そんなことは、自然の法則に反することであって、奇跡である、そして奇跡などはないというのである。…このような教えは、聖書の証言に反している。キリストとその弟子たちによって、奇跡が行われなかったであろうか。その同じ憐れみ深い救い主が、今日も生きておられて、ご在世のころと同様に信仰の祈りに喜んで耳を傾けてくださるのである。自然が超自然と協力するのである。われわれがこのようにして求めなければ与えられないものが、信仰の祈りにこたえて、われわれにさずけられることが、神のご計画の一部である」『各時代の大争闘』『希望への光』1852, 1853頁

**What to Do to Start　始め方**

1. 祈りの行進チームを結成する
	1. あなたの教会で祈りのチームを結成するために集まってください。チームを一緒に結成したいと思う人々を考え始めてください。チームはたいてい、友人や近所に住む人たち、もしくは一緒に働いている人たちと一緒に結成します。
	2. 牧師や教会員によって、住んでいる人々や働いている人々に影響をもたらすことのできそうな祈りの行進の道順を考える必要があります。考える際に、遠く離れた特定の場所で考えるように、難しく考える必要はありません。単純に、意味深いものとして、考えてください。
	3. 祈りの行進は励まし合い、着実に行えるよう、3人かそれ以上の人数でチームを組み、行います。2人で行うことは理想的ではありませんが、状況によっては、祈りの行進をしないより、2人で行う方が望ましいです。
	4. 再評価の前に、1年間、もしくは半年間、祈りの行進に献身することが大切です。成功する秘訣の一つは長期間に渡り献身するチームを結成することです。この伝道は6ヵ月、8カ月、10か月間の間は結果が見受けられないかもしれません。しかし、結果は出てきます。シンプルな誓約書を作成し、どのくらいの期間、メンバーの一人一人が一緒に祈れるか確認し、サインをしましょう。それをコピーし、見える所に貼っておきましょう。そこに聖句を加えても良いでしょう。このことを祈りの行進を行うごとに2，3度行いましょう。
	5. 各教会はできるだけ多くの祈りの行進チームを結成するよう努める必要がありますが、少なくとも3チームは結成するよう、努めてください。
2. ***Plan the Prayer-Walk:*祈りの行進を計画する**
	1. それぞれのチームが祈り始める週を決定する（チームによっては、開始日まで待たずにすぐ祈り始めても良い）
	2. 各チームは祈りの行進の時に携える聖書の約束のリストを持っていくか、その聖句を暗唱しましょう。神の約束をおぼえることは、自信と力の源となります。
	3. 祈りの行進のチームを交代制にし、バランスよく祈るようにしてください。たとえば、チーム１は毎週日曜と水曜に祈り、チーム2は毎週月曜と木曜、チーム3は毎週火曜と金曜に祈りの行進を行うというように配列してください。各チームはメンバーの都合により、祈りの行進を行う時を定めてください。
	4. 教会や機関にあるすべてのチームは安息日にも祈りの行進を行えるよう、計画してください。チーム1は日曜、水曜、安息日に行います。
	5. 安息日の決められた時にすべてのチームは教会か決められた場所へ戻ってきて、少なくとも30分間、その週に経験したことをわかちあってください。そしてお互いに祈りあう時を持ってください。これを毎週行ってください。
3. Pray While You Walk　行進時の祈り
	1. 祈りのチームが集まる時に、一つか二つの聖書の約束をまず読んで短い祈りを献げてから歩き出しましょう。次のように祈ってください。「愛する主よ、私たちは今歩きながら人々のために祈ろうとしています。どうか、聖霊が求める祈りができるように導いてください。人々に気付き、人々の重荷や悩みに気づくことができるように助けてください。彼らへの大いなる愛を与え、永遠に繋がるようにこの時を過ごさせてください。イエス様の御名によってお祈りします。」
	2. イエス様に人々を引き上げるという目的を忘れないでください。道や地下鉄、レストラン、お店、また職場で会うほとんどの人々はキリストを知りません。今日あなたは彼らのための仲保者なのです。
	3. 少なくとも30分間は祈りながら歩くようにしてください。しかし、長すぎないようにしましょう。疲れたり、決まり切った仕事になったりしないためです。
	4. 黙して静かに祈ってください。一人の時以外はうつむかないで祈ってください。祈りが他の人に聞かれないかと気にしないでください。あなたの祈りの言葉を聞く必要がある人もいます。しかし、大声では祈らないでください。あなた自身に注意が集まるようにはしないようにしましょう。口に出して祈ってもいいのですが、皆で集まっておしゃべりをしているように見られないようにしましょう。あなたが出会う人の代わりにあなたの友、イエス様に祈っているからです。
	5. あなたが出会う人々に注意を向けてください。彼らは悲しんでいますか。寂しそうですか。携帯電話に夢中になっていますか。その人には子供がいますか。友達や家族と一緒にいますか。怒っていますか。デート中ですか。その人の状況に応じて祈ってください。
	6. 例えば、アパートから二人の青年が出てきているとしましょう。その時、彼らのためにどう祈りますか。「愛する父よ、この二人の若者を祝福してください。彼らの人生の選択を導いてください。今は音楽に夢中になっているように見えます。あなたの聖霊が彼らの人生を導いて彼らの魂を養う音楽と彼らの人生に否定的な影響を及ぼす音楽との違いが分かるようにしてください。学校や友達関係を祝福してください。彼らのすべての歩みの中に神様が働いてくださり、いつか彼らがあなたを最善の友として知ることができるようにしてください。」
	7. 次にあなたのチームが繁華街で道を渡ろうとしているとしましょう。信号が変わるのを待っている間、3歳位の娘を連れた母親を見ます。この方のためにはどう祈りますか。「愛する主よ、今日あなたの天使がこの親子を取り囲んでください。危険から彼らをお護りください。子供を育てる知恵を与えてください。彼女があなたを知り、子供もあなたを知る助けができるようにしてください。この小さな女の子が真実なクリスチャンの家族や友達と出会うようにしてください。真理を知り、学校や映画館では聞くとこができない答えを得たいと望めるように成長させてください。彼女の人生を導き、天国で彼女の天使が彼女を連れてきてあの時あなたの祈りが主に応えられたのですと言われるようにしてください。」
	8. チームの一人が住んでいる場所の近くで祈ることがあるかもしれません。１５階に住んでいる知り合いの男性がタバコを吸いに外に出てきています。彼のためにはどう祈りますか。「愛する神様、知り合いの〇〇さんがいます。彼は結婚していますけど寂しそうです。彼の家族が訪ねてきているのを見たことがありません。ニコチン中毒であるのがわかります。愛する主よ、喫煙の習慣から彼を解放してください。長年の悪習慣を断ち切ることができるという希望と信仰を与えてください。次回の教会や病院の禁煙プログラムにどう誘えばいいかを教えてください。勇気を与えてください。彼の魂に対する深い関心を与えてください。彼はあなたを知ってあなたを愛し、遅くなる前にあなたに使えることができるようにしてください。今日、彼を祝福してください。目には見えない神が彼を見つめておられるという証拠を彼に見せてください。
	9. 祈りの行進が終わったら、次回まで神様がこのチームの一人一人と一緒にいてくださるように祈りましょう。
4. 安息日には
	1. 一週間に数日、それぞれのチームで祈ってください。安息日にも同じようにしてください。ほとんどのチームは午後に集まるかもしれませんが、あるチームには安息日の早朝がいいかもしれません。エリコの城壁は七日目のイスラエルの行進の後に崩れたことを思い出してください。
	2. 安息日にはすべての祈りの行進のチームが集まるようにしてください。教会で会ったり、機関で働いている人は職場で会ったりして一週間の体験を分かち合ってください。
	3. 理想的には安息日にはすべてのチームが同じ時間に祈りの行進に出て行き、終了後はまた皆で集まった方がいいです。
	4. 終了後のミーティングではまず、数分間賛美をしてください。神様の愛や暗闇いる人々への神様の憐れみについて賛美しましょう。それから、司会者の祈りの後会衆が自由にそれぞれのチームの一週間の経験を分かち合ってください。これは競争ではありません。また他の人の経験を真似ることでもありません。お互いを励ますためです。
	5. 例えば、道を歩いている誰かがチームの人に話しかけてきましたか。時々そのようなことがありますが、あなたに何と言ってきましたか。それに対してあなたはどう反応しましたか。あるいは、チームの誰かと一緒に祈る機会がありましたか。それはどうでしたか。二、三週間後には人々に対してもっと繊細な気持ちを持つようになることを期待できます。前よりもずっと人々や彼らの必要に関心を示すようになります。そのことをチームと分かち合えるでしょう。何か重荷がありますか。お巡りさんから職務質問を受けたことがありますか。どう答えましたか。定期的に会うことが難しくなったチームがあればそのために祈ってください。
	6. 分かち合いが終わったら、一つか二つ聖書の約束を読んで、神様の栄光のためにそれぞれのチームを用いてくださるように熱心に祈って終わってください。
	7. 継続が一つの鍵であることを覚えてください。敵は私たちが祈りの行進がなんの結果も出していないことを理由にやめたり、諦めたりすることを願っています。敵に勝利させないでください。神様の約束を主張し忠実に祈ってください。私たちが全く期待していない時に、神様はある人の人生において働いてくださることをはっきりと見ることができるでしょう。

**次の段階につなぐ**

1. 善を行うことに倦み疲れることなく、何ヶ月も祈り続けることができたら、祈りの奉仕を付け加えてください。
2. 例えば、神様の紹介、世の中が苦しんでいる問題についてのチラシを持って行ってください。歩きながら次のように祈ってください。「愛する主よ、今私たちは人々のためになると信じられるチラシを持っています。このチラシが誰を助けることができるかあなただけがご存知です。どうか私たちの心に働きかけてこれを誰にあげるべきか、あるいはどこに置くべきかを教えてください。どうかこのチラシが無駄になることがないようにしてください。もしそれがゴミ箱に捨てられることがあってもそれを拾う人に祝福となるようにしてください。」
3. 次の段階に上がるためのもう一つの方法はユニフォームのように同じ服装をすることです。祈りの行進のチームであることを示すような同じ帽子、ベスト、リストバンドなどを揃えましょう。もしそこに言葉を入れるとしたら注意深く選んでください。そうする前に誰かに相談してください。間違った方法で人々の注意を引くことがないようにするためです。
4. いずれにしても、正しい方法で人々の注意を引くようにしましょう。正しい方法とはなんでしょうか。方法によっては通りがかりの人があなたに話しかけたいと思うでしょう。その人がベストや帽子に書いてある言葉を見てハッと思わせるような言葉は例えば、「言葉の玉手箱」、「地域のための祈り」のようなものです。それはチームが同じ日、同じ時間に長期間、継続するときに効果が出ます。人々は習慣の生き物であり、来る日も来る日も同じようなことをしています。例えばあるチームが毎週火曜日の午後6時に出かけるとすれば、その時間に歩いている人たちはそのチームのことを覚えるようになります。
5. また次の段階に上がるもう一つの方法は話しかけてくる人たちに渡すことができる祈りのカードを作ることです。そのカードには「地域のために祈っています」のようなことが書いてあって、受け取った人が自分の祈ってほしいことを書いて、次回祈りのチームに渡せるようなものです。ある場合にはそのカードを受けることが一緒に祈る機会を与えてくれることもあります。でも、まず一緒に祈っていいかどうかを聞いてください。
6. 最後に神様が奉仕の機会を開いてくださるように単純に祈ることです。例えば、引越しをして場面に出くわしたら手伝いましょうかと言ってください。また他の方法はこのような次のような祈りです。「主よ、悪魔は人の心を傷つけたり破壊しようと企んでいます。そのようなときには、傷ついたり、恐れを感じたり、事故にあったりしている人々に手を差し伸べることができる時間と場所に私たちを置いてください。彼らにとって恵の天使となることができるような天来の憐れみと知恵を与えてください。もしこのチームが畑で困っている老人に会ったらそれまでに一週間に数回ここを通っているので顔見知りになっているはずですから手伝ったらどうでしょうか。ホワイト夫人がおっしゃった５つの段階を心に留めながら話をしてみましょう。5つの段階とは祝福を求めて彼らと交わり、同情を示し、彼らの必要に応え、信頼を勝ち取り、そしてイエス様を知るように招く。そして彼らにとって自分が祝福となりましょう。ここでのポイントはチームが聖霊の導きによって彼らの必要に応えるために彼らと私たちが繋がり、彼らを祝福する神の御手の道具となることができるように祈ることです。
7. もっともっと人々とつながる方法を知りこの祈りの行進の奉仕を真剣に受け取ることができるように主がチームを導いてくださるでしょう。やがては、この忠実な祈りの行進の結果多くの魂がイエス様に導かれることを期待できるでしょう。神様の祝福がありますように。